令和８年度

教 育 委 員 会 定 例 会
（７月）

令和８年７月９日（木）

鹿屋市教育委員会

会 議 日 程

日　時　　令和８年７月９日（木）　午後３時
場　所　　教育長室

１　開　会

２　前回議事録の承認

３　教育長及び委員の報告

４　議　事
(1) 議案第 10 号　鹿屋市社会教育委員の委嘱について　（Ｐ２）

５　報　告
(1) 令和８年６月鹿屋市議会定例会の一般質問について　（Ｐ５）
(2) 令和８年度「いきいき歯っぴいメモリアル」に伴う図画・ポスター展及び表彰式実施報告について　（Ｐ13）
(3) 部活動報告【大会結果】について　（Ｐ15）
(4) 新規家庭教育サポーターについて　（Ｐ16）
(5) 創作舞台「野里国民学校」公演の開催について　（Ｐ17）

６　動議の討論等

７　その他
・鹿屋看護専門学校令和９年度入学生用学校案内パンフレットについて（配布）
・かのやっ子わくわくアドベンチャーinこしきしまについて
・宇宙と大自然の挑戦プロジェクトについて
・サマーベースキャンプ2026について
・令和８年度夏の子ども教室（短期講座）について
・文化財ウォッチングについて

８　閉　会

議案第10号

鹿屋市社会教育委員の委嘱について

鹿屋市教育委員会の行政組織等に関する規則（平成18年鹿屋市教育委員会規則第２号）第10条の規定に基づき、別紙のとおり会議に付議する。

令和８年７月９日提出

鹿屋市教育委員会
教育長　中野健作

（別　　紙）

（提案理由）

鹿屋市社会教育委員条例第２条に基づく委員を新たに委嘱したいため、本案を提出するものである。

１　社会教育委員の設置について

（１）根拠

鹿屋市社会教育委員条例（社会教育法第 15 条に基づく設置）

（２）委員数

20 人以内

（学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから鹿屋市教育委員会が委嘱）

（３）任期　２年

２　社会教育委員の職務・役割

（社会教育法）

第 17 条　社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。

一　社会教育に関する諸計画を立案すること。

二　定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。

三　前二号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

２　社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。

３　市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

３　社会教育委員の選任について

別紙（案）のとおり

令和８～９年度　鹿屋市社会教育委員（案）

		前委員		新規委員		委嘱にあたって
	区分	氏　　名	委員当時の職	役　職　等	現職等	
1	学校教育関係	野崎　進作	鹿屋市立鹿屋女子高等学校　校長	野崎　進作	鹿屋市立鹿屋女子高等学校 校長	小・中・高等学校における子どもや保護者との交流を通して、社会教育の課題について提言を期待
2		伊藤　太	鹿屋市立寿北小学校校長（校長協会推薦）	**（新）桑鶴　直幸**	鹿屋市立輝北小学校校長（校長協会推薦）	
3		宮下　義昭	鹿屋幼稚園園長（幼稚園協会推薦）	宮下　義昭	鹿屋幼稚園 園長（鹿屋市幼稚園協会推薦）	
4	社会教育関係者	上籠　司	鹿屋市町内会連絡協議会　会長	上籠　司	鹿屋市町内会連絡協議会 会長（同推薦）	社会教育関係団体として、社会教育の充実への提言を期待
5		東別府　睦	鹿屋市ＰＴＡ連絡協議会　副会長	**（新）今村　和也**	鹿屋市ＰＴＡ連絡協議会 会長（同推薦）	
6		宮下　惠子	鹿屋市子ども会育成連絡協議会会長	宮下　惠子	鹿屋市子ども会育成連絡協議会会長（同推薦）	
7		濵田　快斗	鹿屋市青年団協議会会長	**（新）假屋　悠太**	鹿屋青年会議所 R8 専務理事（同推薦）	企業の立場から社会教育支援への提言を期待
8		田平　弦大	商工会議所青年部前会長（同推薦）	**（新）金川　義和**	鹿屋肝属法人会青年部会租税委員（同推薦）	
9				**（新）伊東　奈美**	鹿屋商工会議所青年部（同推薦）	
10				**（新）有島　勝成**	かのや市商工会青年部（同推薦）	
11	家庭教育関係者	森元　順子	なごみの森福祉会代表	**（新）大塚 千穂美**	家庭教育ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ	家庭教育経験者として学校と地域の連携等についての提言を期待
12		川添　順子	家庭教育支援員読聞かせ会「Po 絵夢」代表	**（新）桐原　恭子**	心理士、生活学校今ここ代表（市女性人材ﾘｽﾄ登録）	
		川原　恭子	スクール・ソーシャルワーカー			
		鶴園　容子	東部地区主任児童委員（地区推薦）			
13	学識経験者	松永　太郎	「ヒメとヒコ」演出家（ﾆﾗｲｽﾀｼﾞｵ）	松永　太郎	「ヒメとヒコ」演出家（ニライスタジオ代表）	高校生との交流から社会教育の実への提言を期待
14		森　司朗	鹿屋体育大学ｽﾎﾟｰﾂ人文・応用社会科学系　教授	森　司朗	鹿屋体育大学ｽﾎﾟｰﾂ人文・応用社会科学系　教授	大学の現場から社会教育の充実への提言を期待
15		小手川洋子	助産師、DV 被害者支援の会アミーチ	小手川 洋子	助産師、DV 被害者支援の会　アミーチ	地域の実態を踏まえ社会教育充実への提言を期待

※女性委員は、全体の 33%予定（５/15 人）

※社会教育委員の会議（7 月、11 月、2 月）　第 1 回 開催日時　令和８年 7 月 21 日(火) 14:00～16:00

報告（１） 令和８年６月鹿屋市議会定例会の一般質問について

（教育委員会関係）

１	中学校での指導方法工夫改善加配の増員について	議員名	横井議員

【質問の要旨】

県の加配教員制度は、生徒の理解度、学力向上のために不可欠な制度と思われる。しかし、少人数クラスが実施できない教科、学年も存在するため、加配教員数が十分だとは言えない状況である。

今後このような習熟度別を含む少人数クラスを拡大するために、市の予算で加配教員を雇用する考えはないか見解を示されたい。

【答弁の要旨】

○ 学校に配置される教員数は、学級数により算定される担任等の教員数（いわゆる**基礎定数**）と、学校の規模や特色に応じて特定の教科・領域等の指導のために配置される加配の教員数（いわゆる**加配定数**）の合計により定められている。

○ 本市の中学校における**加配教員数**については、**令和８年度28名が配置予定**で、そのうち、**指導方法工夫改善加配は、現在、１人未配置で16名の配置**である。

○ 教職員の配置は、**任命権者である県教育委員会が採用や配置等を担い**、市町村教育委員会は学校運営に係る指導や教職員の服務監督等を担っている。指導方法工夫改善加配については、県教育委員会が前年度に希望調査を行い、その結果に基づき決定・配置している。

○ 指導方法工夫改善加配による少人数での授業が、生徒一人ひとりの理解度の把握や学力の向上に有効であり、その重要性は認識しているが、一方で教員不足は近年極めて大きな課題である。

○ 本市においても、今年度は１名の未配置であるが、例年10名以上の未配置があり、**教員免許状を有する人材の確保は、本県はもとより全国的にも非常に厳しい状況**にある。こうした状況を踏まえると、**市単独での加配教員を採用することは、現時点では難しい**と考えている。

○ 本市としても、免許保有者の掘り起こし等による人材確保に向けた情報収集に努めるとともに、県教育委員会と連携を密にしながら、**希望する学校に加配教員が確実に配置されるよう引き続き努力していく**。

２	主権者教育の充実について	議員名	落司議員

【質問の要旨】

単なる「模擬選挙の体験」に留まらず、より実践的な主権者教育の充実が必要ではないかと考えるが、市としてどのように関わっているか、見解を示されたい。

【答弁の要旨】

○　自立した良き市民の基礎基本を培う主権者教育は、社会を生き抜く力や地域課題の解決を主体的に担おうとする態度等を育成することであり、これまで以上に重視すべき教育課題である。

○　学校では、

・　社会科や公民科で政治の仕組みや租税教育、国民の政治参加等を学習
・　学級会活動や生徒会活動を通して自主的、自治的態度を育くむ
・　生徒会選挙の際に、選挙管理委員会から実際の投票箱を借り、本番さながらの投票を実施。
・　全ての小中学校が青少年赤十字JRCに加入し、平和で民主的な社会の一員としての基礎を学ぶ。
・　高等学校では、生徒会選挙に合わせて市選挙管理委員会による出前授業を実施。

などの取り組みを行っている。

○　主権者教育は、学校だけでは到底なしえないことから、家庭や地域と連携協働し、社会全体で多様な取組を行う必要があり、例えば子ども会活動や鹿屋市ジュニア・リーダークラブのような団体や、教育委員会をはじめとする**関係部署が積極的な役割を果たすことが大切**だと考えている。

○　若者の政治離れや投票率の低下など様々な問題が指摘される中、教育委員会としては、特に児童生徒がよき市民として主体的に活動する力や態度をしっかり身に付けられるよう、**家庭や地域、様々な関係団体と連携しながらその充実に努めていきたい。**

３	学校等における和式トイレの簡易洋式化導入について	議員名	安田議員

【質問の要旨】

学校施設には和式トイレが残っており、利用しづらさを感じる児童生徒もいる。教育環境の改善を図るため、洋式化の整備状況や予算を確認するとともに、低コストで早期対応が可能な簡易洋式化の導入について伺う。

① 学校等における和式トイレの現状について
② 洋式化整備に係る予算と整備計画について
③ 簡易洋式トイレ導入による早期対応について

【答弁の要旨】

① 学校等における和式トイレの現状について

本市においては、大規模改造工事での整備や、洋式トイレが少ない学校への個別整備など、年次的・計画的に学校トイレの洋式化を進めており、整備にあたっては、便座への接触に抵抗がある児童生徒に配慮して、**和式便器をフロア一毎、男女毎に一部残し、その他は洋式化すること**としている。

② 洋式化整備に係る予算と整備計画について

令和８年度は小学校３校、中学校４校のトイレ改修工事を実施予定で、今年度末には整備予定数の88%となる見込みであり、**大規模改造工事を予定している学校以外は、概ね整備を実施した**こととなる。

③ 簡易洋式トイレ導入による早期対応について

簡易洋式トイレは、整備費用が安価で施工しやすいため、早期対応に適しているといったメリットがある一方、掃除がしにくく衛生状態を保つことが難しいことや、便器の耐用年数が短いなどのデメリットがある。

本市としては、長期間に渡り学校トイレを快適に利用できるよう、トイレの洋式化は改修工事による整備を基本的な方針としているが、ケガや病気などで緊急的に洋式化の整備要望があった場合は、一時的な対応として簡易洋式トイレの設置を行っている。

今後も、**大規模改造工事等で整備まで期間を要する場合や、児童生徒の状況に応じた要望がある場合は、本整備までの間、簡易洋式トイレを一時的に設置**するなど、児童生徒の健康や学校生活に配慮した対応ができるよう取り組んでいく。

４	児童生徒の市議会への関心向上等につながる取組について	議員名	安田議員

【質問の要旨】

児童生徒が市議会や地域課題に関心を持つことは、主権者教育の推進だけでなく、地域への愛着や将来的な定住意識の醸成にもつながると考える。議会傍聴や模擬議会などの取組を通じた人材育成と地域定着の考え方について伺う。

① 児童生徒を対象とした議会見学や傍聴機会の現状について

② 模擬議会や子ども議会等の取組について

③ 主権者教育と地域定着につなげる取組について

【答弁の要旨】

① 児童生徒を対象とした議会見学や傍聴機会の現状について

② 模擬議会や子ども議会等の取組について

児童生徒を対象とした議会見学や模擬議会の取組については、これまで、政策推進課が、児童・生徒の市政への関心を深めるとともに意見を反映した政策づくりなどを目的に、平成28年度から４カ年にわたり、「高校生議会」を実施し、その後、「高校生が未来を語る会」・「かのやっ子委員会」・「子どもモニター」などの取組を実施している。

児童・生徒の議会見学や傍聴等については実施されていないところである。

③ 主権者教育と地域定着につなげる取組について

主権者教育は、学校だけでは到底なしえないことから家庭や地域と連携協働し、社会全体で多様な取組を行う必要があり、例えば子ども会活動や鹿屋市ジュニア・リーダークラブのような団体や、教育委員会をはじめとする**関係部署が積極的な役割を果たすことが大切**だと考えている。

今後、議会の見学等も含めた様々な教育活動を積極的に働きかけ、児童生徒がよき市民として主体的に活動する力や態度をしっかり身に付けられるよう、家庭や地域と連携しながらその充実に努めたい。

５	不登校児童生徒への支援と多様な学びの場の確保について	議員名	山下議員

【質問の要旨】

(1)　全国的に不登校児童生徒が増加しているが、本市における不登校児童生徒の数及びその推移をどのように認識し、不登校の主な要因をどのように分析しているか。

(2)　本年度から実証的に開設された、市内５か所のサテライト方式による教育支援センターの現在までの利用状況をどのように把握しているか。また、実証事業を通じて見えてきた成果や課題は何か。

(3)　不登校の子どもたちにとっては、学習機会の確保だけでなく、安心して過ごせる居場所をつくることも重要だと考えるがどうか。

(4)　志布志市では、不登校児童生徒を対象とした「学びの多様化学校（不登校特例学校：悠志学園）」を開校された。本市でも、学校に通いたくても通えない子どもたちに対して、多様な学びを保障する観点から、公立の学びの多様化学校を設置する考えはないか。

【答弁の要旨】

(1)　不登校児童生徒数の推移への認識及び主要因の分析について

不登校児童生徒の数及びその推移について、**令和４年度196人、令和５年度223人、令和６年度252人**と年々増加傾向にあったが、**令和７年度は245人**で、**わずかではあるが減少**している。

不登校の主な要因としては、友人関係や家庭環境、生活の状況など複合的な要因があることから、解決すべき喫緊の課題として、様々な取組を行っている。

(2)　教育支援センターサテライト実証事業の成果や課題について

新たに５箇所を開設した。既存の市立図書館を含めた６箇所の利用状況は、４月から現在まで、小中学生の16人が通所し、延べ223人の利用がある。そのうち、**今回開設したサテライト施設の利用は、小中学生の10人が通所し、延べ39人**である。

利用した児童生徒、保護者からは「学校の近くにできて、利用しやすくなった。」、「落ち着いて学習ができたので、また行きたくなった。」等の声があり、一定数の児童生徒の居場所づくりとして成果が表れつつある。

一方、課題としては、児童生徒及び保護者に対して、利用時間など児童生徒個々に対応できる利用しやすい場所であることが十分伝わっていないことや、各施設の開設日の設定回数の在り方などがあり、更に検討が必要であると考えている。

(3)　安心して過ごせる居場所づくりの重要性について

市内全小中学校に校内支援ルームの設置やサテライトを含む教育支援センターの開設など、児童生徒の居場所づくりに努めている。

また、本市には民間のフリースクールの２団体が活動されており、現在20人程度が利用している。通所している児童生徒の状況については、各所から学校へ、アプリを用いて日々の様子が報告され、心身の健康状態や学びの状況を共有し、児童生徒の実態に合わせた学習支援や教育相談等、必要な支援を連携しながら行っている。

⑷　学びの多様化学校の設置について

学びの多様化学校は、一人一人の状況に合わせた柔軟な学びと安心できる居場所を備えたものであり、学びと自信を取り戻すことを目指した重要な学校であると認識している。一方、その設置には、**多様なカリキュラム編成への対応や施設設備、通学手段、教職員の確保及び適切な配置等、検討すべき課題が多い状況**である。

一人一人の児童生徒に即した多様な居場所づくりは、とても重要であると認識しており、今後も**国や県の動向、先進事例における成果や課題を引き続き注視しながら研究を続けていく**。

６	マイボトル専用ウォーターサーバーの設置について	議員名	福田議員

【質問の要旨】

児童生徒が安全に水分補給できる環境整備として、マイボトル専用ウォーターサーバーを設置する考えはないか。

【答弁の要旨】

○　学校における熱中症対策の取組については、普通教室へのエアコン設置により、室内の温熱環境の改善を図るとともに、水分補給についても、いつでも補給ができるようマイボトルの持参を勧めている。

また、屋外での長時間にわたる体育の授業においては、給水休憩を設けることを徹底しており、昼休み等においても熱中症指数の計測結果を踏まえながら、適宜休憩時間を確保するなど、気象状況に応じて対応している。

○　学校におけるウォーターサーバーの設置については、フィルターを通じた衛生的な水を随時補給できるため、児童生徒が持参した水筒への補充を容易にすることで、こまめな水分補給の習慣化が図られるほか、感染症対策にも有効であることが挙げられる。一方で、リース代や電気代などのランニングコストや、設置場所の確保など検討を要する事項もあるところである。

○　引き続き学校における室温管理や、給水休憩などの熱中症対策にしっかりと取り組むことで、児童生徒の安全・安心を確保できるものと考えており、**ウォーターサーバーの設置については、現時点において直ちに導入する考えはない**が、環境負荷の低減や感染症対策など導入によるメリット等も踏まえながら、他自治体の先進的な取組事例も参考に、引き続き研究していく。

7	**特別支援教育支援員の人員確保・配置について**	議員名	岩松議員

【質問の要旨】

教員不足の現在、特別支援教育支援員の人員確保・配置の現状と課題を示されたい。

【答弁の要旨】

○　各学校において特別支援教育支援員は、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒に対して、学級担任の指示に応じる形で、授業などの様々な場面で支援を行っている。

○　本市の支援を必要とする通常の学級に在籍する児童生徒数は、**令和６年度が640人、令和７年度が690人、令和８年度が693人と増加**しており、それに伴い、特別支援教育支援員の配置人数は、**令和６年度が59人、令和７年度が61人、令和８年度が63人**と**年々増員して対応**している。

○　特別支援教育支援員の配置については、**各学校からの希望数の調査や対象となる児童生徒の実態調査を基に、配置基準と照らしあわせ、適切な配置に努めている**。令和８年度における特別支援教育支援員については、63人の募集に対し、71人の応募があり、定員を確保している。

○　課題としては、支援を必要とする児童生徒数の増加に伴い、教育的ニーズも多様になってきており、専門的な知識や技術が必要となっている。本市では、特別支援教育支援員の専門性を高めるために、特別支援教育の考え方や発達障害の特性やかかわり方などの研修を年４回実施している。今後も、学校と連携を深めながら、一人ひとりのニーズに応じた教育の推進に努めていく。

8	**生涯学習推進協議会について**	議員名	岩松議員

【質問の要旨】

各地区生涯学習推進協議会では、地域世代間のふれあいを通した生きがいづくりの充実を促進するための事業委託を行っている。各協議会からどのような要望や課題があるか示されたい。

【答弁の要旨】

○　地域住民への生涯学習の啓発及び生涯学習の機会を創出し、地区の生涯学習の振興・充実を図ることを目的として、**12地区の生涯学習推進協議会に対し、事業委託**を行っている。

○　各協議会においては、三世代が交流するグラウンドゴルフ大会や餅つきなどの体験活動、棒踊りなどの地域の伝統文化継承に関する取組、健康づくり講座など、地域の実情に応じた多彩な事業が展開されている。これらの事業は、世代を超えた学びと交流の場となっており、地域に活力を生み出す機会にもなっている。

○　一方、**地域の高齢化が進み、担い手不足、若い人が集まらない**などの課題や、**物価上昇に伴い、**事業やスポーツイベントなどの**必要経費が増えている**などの課題があり、一部の協議会においては、さらなる経費の支援の要望もあるところである。

○　こうした現場の声を真摯に受け止め、対話を重ねながら、**生涯学習推進事業の在り方や、地域の実情に応じた支援内容を整理していきたい**と考えており、今後も持続可能な事業を展開していけるよう努めていきたい。

９	**教員の働き方改革について**	議員名	土屋議員

【質問の要旨】

⑴　教員の勤務環境の現状にどのような認識を持っているか、見解を示されたい。

⑵　数値では測れない、現場の生の声を把握するためにも、夏休みなどを利用して全教員を対象に次に掲げるアンケート調査を実施する考えはないか。

①勤務時間内にどれだけ翌日の授業準備の時間が取れているか。

②勤務時間内に法定の休み時間45分を取れているか。

【答弁の要旨】

⑴　教員の勤務環境の現状について

平成30年度から計画的に、市教育委員会主催の研修会や会議等を約40パーセント削減するとともに、夏休み期間における学校閉庁日の期間延長、校務支援ソフトの導入など、教職員の働き方改革に努めており、**教職員の勤務環境は改善されてきていると認識**している。

本市の教職員の実態については、令和７年度の１か月時間外在校等時間、いわゆる時間外勤務時間の平均は、31時間29分となっており、令和３年度の36時間47分に比べて、**５年間で、５時間あまり、毎年およそ１時間程度削減**されている。

市内全教職員を対象に実施しているストレスチェックにおいては、健康リスクの値を全国平均100とした場合、令和７年度の本市は88となっており、**全国平均よりリスクが低い結果**である。

⑵　アンケート調査の実施について

各学校においては、教職員に職場環境等に関するアンケートを実施し、学校安全衛生委員会で教職員自ら意見を出し合って、働き方改革を含めた改善を行っており、これらについては、市教委としても**各学校の課題や取組を把握**している。

また、有識者や現場の教職員などが委員である「信頼される学校づくりのための委員会」や「市学校職員総括安全衛生委員会」などで、直接意見を聞くなどして**教職員の現状を確認**している。

このように、教職員の意見は年間を通して確認しているところであり、**現時点では改めて全教職員にアンケートを行うことは考えていない**。

令和８年３月に策定した「鹿屋市立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」に基づいて、国が目標としている**令和11年度までに、１か月時間外在校等時間を平均30時間程度に削減すること**などの目標を達成するための取組を行い、働き方改革を進めていく。

報告（２） 令和８年度「いきいき歯っぴいメモリアル」に伴う図画・ポスター展及び表彰式実施報告について

（学校教育課）

１ 目的

鹿屋市の児童生徒が、「歯と口の健康週間」を機会に歯を大事にし、丈夫な歯を育てることへの関心を高めるとともに、歯みがき等の習慣を形成し、むし歯の早期発見・早期治療を促進することで、「歯と口の健康」の意義を認識してもらうことを目的に鹿屋市歯科医師会と鹿屋市教育委員会の共催により、図画・ポスター作品を募集しました。

２ 応募総数

応募総数：1,984点

３ 受賞者一覧

⑴ 特選８点

賞	受賞者名	学校名
鹿屋市長賞	神田　みさき	第一鹿屋中学校３年生
鹿屋市議会議長賞	栗脇　一瑳	大姶良小学校　２年生
鹿屋市教育長賞	末次　初希	寿小学校　４年生
鹿児島県歯科医師会長賞	伊井　楓	鹿屋東中学校　２年生
鹿屋市歯科医師会長賞	上別府　叶羽	寿小学校　２年生
鹿屋市歯科医師会学校歯科委員会賞	久永　白	寿北小学校　５年生
鹿児島県歯科衛生士会長賞	福永　理梨愛	大姶良小学校　６年生
歯と口の健康テーマ特別賞	木下　ひなた	西原小学校　５年生

⑵ 入選42点

４ 表彰式

⑴ 日　時　　令和８年６月６日（土）14:00～
⑵ 場　所　　鹿屋市役所７階大会議
⑶ 参加者
受賞者48人、来賓（表彰者）６人、来場者30人
運営16人（歯科医師会３人、健康増進課５人、学校教育課８人）　計100人

５　作品展示

⑴　期　間　　令和８年６月６日（土）～６月19日（金）

⑵　場　所　　鹿屋市役所１階市民ホール

６　展示・表彰の様子








報告（３） 部活動報告【大会結果】について

（学校教育課　鹿屋女子高等学校）

１　スーパービジネスクラブ（第73回鹿児島県高等学校ビジネス計算競技大会）

(1) 期日　令和８年６月９日(火)
(2) 会場　鹿児島市立鹿児島商業高等学校（鹿児島市西坂元町）
(3) 結果
　① **団体総合競技　電卓部門　優勝　【全国大会・九州大会出場】**
　　情報ビジネス科３年　平原　つくし・有村　咲音　２年　秋山　穂乃花
　② **個人総合競技　珠算部門　３位　【九州大会出場】**
　　情報ビジネス科２年　寺園　菜々美
(4) **全国大会**（第73回全国高等学校ビジネス計算競技大会）
　① 期日　令和８年８月４日(火)
　② 会場　横浜武道館（神奈川県横浜市）
(5) **九州大会**（第78回全九州高等学校ビジネス計算競技大会）
　① 期日　令和８年７月22日(水)・23日(木)
　② 会場　カクイックス交流センター（鹿児島市山下町）

２　弓道部（第72回鹿児島県高等学校弓道競技大会）

(1) 期日　令和８年５月26日(火)から29日(金)まで
(2) 会場　鹿児島県総合体育センター武道館弓道場（鹿児島市与次郎１丁目）
(3) 結果
　個人競技　第２位　【全国大会・九州大会出場】
　情報ビジネス科３年　神田　叶愛
(4) **全国大会**（第71回全国高等学校弓道大会）
　① 期日　令和８年８月１日(土)から４日(火)まで
　② 会場　田辺スポーツパーク体育館ほか（和歌山県田辺市）
(5) **九州大会**（第72回全九州高等学校弓道競技大会）
　① 期日　令和８年７月４日(土)・５日(日)
　② 会場　島原市霊丘公園体育館・弓道場（長崎県島原市）

３　水泳（第78回鹿児島県高等学校水泳(競泳)競技大会）

(1) 期日　令和８年５月28日(木)・29日(金)
(2) 会場　鹿児島市鴨池公園屋内水泳プール（鹿児島市鴨池２丁目）
(3) 結果
　自由形　100m第２位・200m第２位　【九州大会出場】
　普通科１年　有馬　花
(4) **九州大会**（第74回全九州高等学校水泳(競泳)競技大会）
　① 期日　令和８年７月18日(土)から20日(月)まで
　② 会場　熊本市総合屋内プール（熊本県熊本市）

報告（４） 新規家庭教育サポーターについて

（生涯学習課）

令和８年度　家庭教育サポーター名簿

〇業務：中学校区ごとに１人以上を配置し、学校や地域の実情に応じて家庭教育に関する活動を行う。主に相談対応、家庭教育向上のための情報や学習機会の提供など

※　網掛けの方々が新規

	校　区	氏　　名	役　職　等
1	鹿屋中	タニグチ　カツシ 谷口　勝志	前中PTA会長 青少年育成指導員
2		イトウ　ヤスコ 伊東　保子	主任児童委員 家庭教育推進委員会委員
3	鹿屋東中	ツルゾノ　ヨウコ 鶴園　容子	主任児童委員 市社会教育委員
4		ヒガシモト　カオリ 東本　佳欧里	主任児童委員　教育業務支援員 学校運営協議会委員
5	第一鹿屋中	カミタカハラ　タカコ 上髙原　貴子	元市Ｐ連会長　主任児童委員 野里小・一中学校運営協議会
6		アマタツ　ユキコ 天辰　由紀子	主任児童委員　元小中Ｐ役員 学校運営協議会委員
7		ヒガシベップ　ムツミ 東別府　睦	社会教育委員　元市教育委員 保育園副園長　市Ｐ連副会長
8	田崎中	マエムラ　マサコ 前村　雅子	元教員
9	大姶良中	オオクマ　クミコ 大隈　久美子	元P副会長 寺子屋指導員　民生委員・主任児童委員
10		セシタ　ハルヨ 瀬下　治代	元小学校教諭 読み聞かせＧ
11	花岡中	ニシゾノ　トモヒロ 西薗　知浩	学校運営協議会長　歴代Ｐ長 民生委員・主任児童委員
12	高隈中	ハシ　マキヨ 桥　真代	高隈中ＰＴＡ会長　飲食店経営 元高隈地区コミュニティ事業部
13		ハヤシ　サトミ 林　さとみ	元ＰＴＡ会長　民生委員 高隈交流ｾﾝﾀｰ専門指導員
14	輝北中	オオクボ　トモコ 大窪　智子	元ＰＴＡ副会長　地区理事 家庭教育学級長
15	串良中	イナムラ　ミワ 稲村　美和	読み聞かせＧ、元会長 児童クラブ学童指導員
16	細山田中	マツモト　ユリコ 松元　百合子	読み聞かせＧ、コミ協理事 民生委員
17		ジョウヤマ　ヨシエ 城山　良恵	民生委員　読み聞かせＧ コミ協理事　元教員
18	上小原中	モトムラ　ヤスコ 本村　ヤス子	民生委員　人権擁護委員 学校運営協議会委員
19	吾平中	ナカムラ　フキコ 中村　ふき子	母子保健推進員 学校運営協議会副委員長
20		コタケ　リエ 小竹　理恵	元小PTA副会長　読み聞かせG 母子保健推進員

報告（５） 創作舞台「野里国民学校」公演の開催について

（生涯学習課）

１ 目的

昨年、戦後 80 年事業で実施し好評を得た、創作舞台「野里国民学校」公演を開催することによって、市民が郷土の歴史を深く知る機会を創出し、平和の尊さを考えるとともに、本市の歴史的魅力を市内外へ広く発信する。

また、本公演を、次代を担う児童生徒が郷土史に触れ、保護者と共に平和について考える機会とするため、無料招待を実施する。

２ 事業概要

（１）公演名　創作舞台「野里国民学校」

（２）日　時　①令和８年８月 22 日(土) 17:30 開演
②令和８年８月 23 日(日) 13:30 開演　※公演時間約 120 分

（３）会　場　鹿屋市文化会館

（４）入場料　前売 1,000 円　当日 1,500 円（全席指定）

（５）体　制　主催：鹿屋市、業務委託先：株式会社まちづくり鹿屋
制作：株式会社ニライスタジオ

（６）予　算　5,924 千円（委託料）

（７）広　報　ふるさと PR 課との連携、広報かのや、市ホームページ・公式 LINE

３ 児童・生徒及び保護者の無料招待の実施について

（１）招待要項

対象　市内在住の「小学校５年生～中学校３年生」及び「同伴の保護者１名」
※児童生徒と保護者の同時申し込み必須条件とする。
※招待席１公演 500 席

申込　案内チラシ（学びポケット、紙媒体（児童生徒便））記載の専用フォームにて受付
※申込多数の場合は抽選を実施

締切　令和８年７月 17 日(金)

（２）実施手順

募集　各学校を通じ、案内チラシ（申込用二次元コード付）を配布

配布　座席指定済の招待チケットを申込者へ電子配布

（３）留意事項

・招待対象の児童生徒は保護者の同伴を必須とし、同伴がない場合は入場を認めない。
・会場までの移動を含めた安全管理は、保護者の責任とする。



2026 8/22 [SAT] 開場：16時30分 開演：17時30分 • 8/23 [SUN] 開場：12時30分 開演：13時30分

鹿屋市文化会館

〒893-0007
鹿児島県鹿屋市北田町11107

鑑賞料金
前売り券 1,000円（税込）
（当日券 1,500円（税込））
※全席指定 ※未就学児入場不可

プレイガイド
鹿屋市文化会館 …… TEL：0994-44-5115
リナシティかのや３F売店 TEL：0994-35-1001

電子チケット
teket ※二次元コードよりお買い求めいただけます。

お問合せ
鹿屋市教育委員会 生涯学習課 TEL：0994-31-1138

駐車場に限りがありますので、公共交通機関や送迎・乗り合わせでのご来場にご協力ください。
車椅子席をご利用のお客様は、鹿屋市文化会館（0994-44-5115）まで事前にお問い合わせください。

チケット販売日
▶ 先行販売（電子チケットteket）
7/20（月・祝）11：00～
▶ 一般販売（鹿屋市文化会館、リナシティかのや、電子チケットteket）
7/25（土）11：00～

◎主催：鹿屋市教育委員会　◎制作：株式会社ニライスタジオ

創作舞台「野里国民学校」

2025 年戦後８０年の節目に作られた舞台がまた帰ってくる。太平洋戦争末期、最も多くの特攻機が飛び立った鹿屋。作家である山岡荘八や川端康成などが従軍記者として鹿屋に赴いていた事実はあまり知られていません。特に山岡荘八が朝日新聞に残した「最後の従軍」というルポタージュには鹿屋基地から特攻に向かう若者の姿が事細かに記されています。基地のすぐそばにあった野里国民学校は、そんな彼らの寄宿舎でした。特に学鷲と呼ばれる高等教育機関を出た後に従軍した若者たちは、この国の未来と、自身の将来や夢とをひき替えに、南の海へと飛び立ったのです。従軍記者が記した記事を原作に、特攻兵たちの葛藤や野里での暮らしを描いた創作舞台「野里国民学校」。物語は実際に残されているエピソードをもとに作られました。鹿屋には何年経っても語り継がねばならない歴史があるのです。



山岡荘八「最後の従軍」の文末より

・・・・まだまだ署名帳を見てゆくと、思い出は限りない。私にはこの野里村は自分の生涯で再び見ることのできない天国のような気がする。あらゆる欲望や執着から解放された人々が、いちばん美しい心を抱いて集っていた・・・・そう思えるのも、実は「諸君だけは殺さぬ」口ぐせのようにいっていた彼らの上官もまた、みなそれぞれきびしく責任を執っていったからでもあろう。とにかくこの特別攻撃を、やむなく考え出した後の軍令部次長大西瀧治郎中将も、第五航艦の司令長官宇垣纏中将も、そして司令の岡村基春大佐もみなそれぞれ彼等との約束を厳しく守って自決していった。

私の見聞の限りではみじんもウソのなかった世界・・・・それだけに私もまた生涯その影響の外で生きようとは思っていない

（朝日新聞・昭和 37 年 8 月 6 日～10 日）

CAST



片岡清役
藤川雅画



中岡荘吉役
村山創太



西村正光役
前田真輝



松島少尉役
今吉勇貴



本城新作役
吉永蒼天



河本中尉役
芦田壮太朗



守島大尉役
曽木丈一郎



岡元司令役
重山茂仁



ミドリ役
浜田歩乃花



サクラ役
前原佳乃



西村の母役
隈元莉々亜



西村の妹役
濱田彩希



現在のサクラ役
新留陽色



孫娘の婿役
浜田優太



野里の母役
吉永怜奈



牧田特攻兵役
前原京平



野里の子役
加連川にじ



野里の子役
桑鶴涼花

アンサンブル　/　赤狩山心愛、戸髙煌大、星野栞奈、星野杏奈









写真：山岡荘八氏

作・演出・音楽　松永太郎　/　演出補　入本敏也　/　振付　寺下貴展・和希
舞台監督・美術　竹下幸次　/　舞台　岩永忠治、向高明大、小田望月、重田美咲　/　音響　佐藤芳隆　/　照明　小森俊彦、小森沙季
衣装　前原佳代　/　制作　宮西亜弓、加連川美雪　/　演奏　桑畑秀教、上谷耕平、延時昂佑、永志保、松永太郎　/　アートディレクション　要田とおる
主催　鹿屋市教育委員会　/　脚本協力　鹿屋航空基地資料館　/　制作　株式会社ニライスタジオ

おしらせ①　かのやっ子わくわくアドベンチャーinこしきしまについて

（生涯学習課）



◇　期　　日　　令和８年７月１８日（土）～7月２１日（火）　３泊４日
◇　場　　所　　薩摩川内市　甑島【上甑自然公園キャンプ村、甑ミュージアムなど】
◇　参加対象　　鹿屋市内の小学校５・６年生
原則、事前と事後の研修会すべてに参加できること。
事前研修会　　６月２８日（日）午前中　東地区学習センター
第１回事後研修会　　８月　２日（日）午前中　東地区学習センター
（研修終了後、子ども会大会実行委員会へ移行　10/24(土)午前中開催）
◇　参 加 費　　20,000 円　※全国子ども会安全共済会未加入者は、別途掛金 270 円が必要です。
◇　定　　員　　24 人
◇　申込方法　　下記の申込書に記入の上、各小学校の教頭先生に提出してください。
◇　申込期限　　令和８年５月 25 日（月）※必着【申込み多数の場合は、選考・抽選等により決定】
結果は令和８年６月８日以降にお知らせします。
◇　主催・指導　　かのやっ子わくわくアドベンチャー実行委員会
◇　共　　催　　鹿屋市子ども会育成連絡協議会
◇　後　　援　　鹿屋市教育委員会

裏面もご覧ください

切り取り線

ふりがな 氏名		生年月日	年　月　日	学年・組	年　組
住所	〒		電話番号	（自宅） （携帯）	
学校名		単位子ども会名		単位子ども会の 役員をしていますか	している　・　してない ※○印をお願いします
昨年（R7年度）は何回くらい 町内会活動に参加しましたか	（　　）回		昨年(R7年度)は何回くらい子ども会 活動に参加しましたか	（　　）回	

※(町内会活動の例：十五夜、清掃活動など）（子ども会活動の例：歓迎会、クリスマス会など）
かのやっ子「わくわくアドベンチャーin こしきしま」への申込みを承諾します。

保護者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

※個人情報は、この事業の目的以外には使用しません。　〆切　令和８年５月 25 日（月）まで

◇　日程及び活動内容（※天候等により変更になる場合があります）

鹿屋市子ども会リーダー育成事業

	1日目（18日・土）	2日目（19日・日）	3日目（20日・月）	4日目（21日・火）
	いざ、甑島へ	**化石と断層を観察**	**海水から塩づくり**	**甑島ありがとう！**
6:00		起床・洗面	起床・洗面	起床・洗面
6:30	集合（市役所駐車場）	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
7:00	出発式	朝食・昼食づくり	朝食・昼食づくり	朝食・昼食づくり
7:30	鹿屋市 発			
8:00		朝食	朝食	朝食
9:00		キャンプ村　発 (鹿島町藺牟田へ)	キャンプ村　発 (下甑町手打へ)	
10:00	串木野新港 着	「甑ミュージアム」		退村　キャンプ村　発
11:00	昼食 結 Line こしき(11:15 発)		「塩づくり体験」 「砂浜で遊ぼう」	
12:00	甑島里港(12:30 着)	昼食	昼食	昼食
13:00		「甑ミュージアム」	「塩づくり体験」 「砂浜で遊ぼう」	長浜港着
14:00		「鳥ノ巣山展望所」		長浜港(14:20 発)
15:00	入村　キャンプ村　着 (ログハウス)	キャンプ村　着	キャンプ村　着	
16:00	野外炊飯	野外炊飯	野外炊飯	串木野新港(16:05 着)
17:00				
18:00	夕食	夕食	夕食	
19:00				鹿屋市着 解散式（19:00） 解散（19:30）
20:00	入浴	入浴	入浴	
21:00	ふりかえり	ふりかえり	ふりかえり	
22:00	就寝	就寝	就寝	



鹿屋市子連
キャラクター
にこちゃん

【連絡先】

〒893-8501　鹿屋市共栄町 20 番 1 号
かのやっ子わくわくアドベンチャー実行委員会事務局
（鹿屋市教育委員会生涯学習課内）
担当：中村・久保田　TEL：0994-31-1138　FAX：0994-41-2935
メール　syougaku@city.kanoya.lg.jp　（生涯学習課）
　　kanoyasikodomoren@gmail.com　（市子連）

※ 活動の写真は、広報誌や市子連の SNS 等の広報に使用します。
また、「かのやっ子わくわくアドベンチャーin こしきしま」は、国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金の助成を受けており、活動の分かる写真等を機構へ提出することとなっています。個人情報(写真)は、「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。
これらについて承諾の上お申し込みくださいますようお願いいたします。

※ 台風発生等天候の影響により、計画の変更・中止等の可能性があります。

本活動は、「子どもゆめ基金」の助成活動です。国立青少年教育振興機構は、子どもたちの成長に必要な体験活動や読書活動を推進するため、「体験の風をおこそう」運動や「早寝早起き朝ごはん」国民運動にも取り組んでいます。
本活動では、子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。
National Institution For Youth Education 国立青少年教育振興機構
子どもゆめ基金
「体験の風をおこそう」運動
かわいい子には体験を！
―子どもの頃の体験は人生の基盤―
運動の詳細や各種資料等はこちらから→
全国の体験活動・プログラム イベントをさがそう
体験活動情報サイト

おしらせ②　宇宙と大自然の挑戦プロジェクトについて

（生涯学習課）



JCI Junior Chamber International Kanoya

一般社団法人
鹿屋青年会議所

お問合せ先
事務局：TEL 0994-42-2245
（月・水・金 /10:00～16:00）
090-9603-1336（若松）
FAX:0994-42-3245 E-mail:kanoyajc@po.synapse.ne.jp

【担　当】青少年最強育成委員会 委員長　若松 翔吾
【事務局】〒893-0007 鹿児島県鹿屋市北田町11103番（鹿屋市文化会館隣）
【主　催】一般社団法人 鹿屋青年会議所
【寄　付】国際ソロプチミスト鹿屋
【後　援】鹿屋市教育委員会、錦江町教育委員会、肝付町教育委員会

「子どもゆめ基金助成活動」
体験の風をおこそう

◇この活動では、子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。

おしらせ③　サマーベースキャンプ2026について

（生涯学習課）

鹿屋市青少年育成市民会議が届ける



令和8年7月26日（日）～
8月1日（土）6泊7日

○主　　催：鹿屋市青少年育成市民会議
○後　　援：鹿屋市教育委員会
○場　　所：国立大隅青少年自然の家
○対　　象：鹿屋市在住の小学5年生 ～高校3年生
○募集人数：24 人
○指 導 者：市民会議登録団体、教職員等
○参 加 費：1人 13,000 円
○事前説明会：令和8年7月16日（木）
18:30～19:30 リナシティかのや2階情報研修室

○申込方法：右記の申込フォームからお申込みください。
締切：6月26日（金）
※申込者多数の場合は選考の上、結果を 7月1日(水)以降に メールにて保護者へ通知します。


テント設営


バームクーヘン


ダンボールピザ


王道カレー

【申込フォーム】
https://logoform.jp/f/KgJ8E

令和8年度 鹿屋市青少年育成市民会議登録団体　〈順不同〉

鹿屋市PTA連絡協議会、鹿屋市子ども会育成連絡協議会、鹿屋市スポーツ少年団指導者連絡協議会、
少年警察ボランティア、鹿屋ライオンズクラブ、鹿屋第一ライオンズクラブ、かのや東ロータリークラブ、鹿屋ロータリークラブ、
鹿屋西ロータリークラブ、鹿屋青年会議所、鹿屋市スポーツ協会、鹿屋市スポーツ推進委員協議会、
鹿屋市町内会連絡協議会、輝北地域町内会連絡協議会、串良地域町内会連絡協議会、吾平地域町内会連絡協議会、
鹿屋市地域婦人団体連絡協議会、鹿屋市交通安全協会、鹿屋市民生委員児童委員協議会、鹿屋市更生保護女性会、
肝属保護区保護司会鹿屋支部、鹿屋商工会議所、鹿屋市薬剤師会、特定非営利活動法人健康づくりフォーラム、
鹿屋市保育会、鹿屋市私立幼稚園協会、鹿屋市小・中学校、鹿屋地域高等学校、鹿屋警察署

本活動は、「子どもゆめ基金」の助成活動です。国立青少年教育振興機構は、子どもたちの成長に必要な体験活動や読書活動を推進するため、「体験の風をおこそう」運動や「早寝早起き朝ごはん」国民運動にも取り組んでいます。

本活動では、子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。

National Institution For Youth Education 国立青少年教育振興機構
子どもゆめ基金

「体験の風をおこそう」運動
かわいい子には体験を！
―子どもの頃の体験は人生の基盤―
運動の詳細や各種資料等はこちらから→

全国の体験活動・プログラム イベントをさがそう
体験活動情報サイト

令和８年度　鹿屋市青少年育成市民会議　主催事業

「サマーベースキャンプ2026」実施要項（表面記載事項は割愛）

目的	６泊７日のキャンプの中で、野外炊飯活動やテント泊体験、高隈山での自然体験活動を通して豊かな心とたくましい体を養う。併せて、メディアから離れた生活の中で、規則正しい生活とともに、人とのよりよいコミュニケーションの取り方を学び、自己肯定感や自己有用感を存分に高めていく。
受付 解散	○受付 ７月26日(日)13:00～13:20【大隅青少年自然の家 太陽の家】 ○解散 ８月１日(土)12:00（退所式 11:30）【大隅青少年自然の家　本館】 ※台風接近等の荒天の場合は、日程の短縮及び内容の変更をする場合があります。
場所	国立大隅青少年自然の家　　鹿屋市花里町赤崩　　TEL0994-46-2222
参加決定	７月１日以降に事前説明会の案内とともに、保護者へメールにて通知します。 ※申込者多数の場合は参加動機、学年、性別等をもとに選考し、参加の可否通知をメールにて送付します。
事前 説明会	令和８年７月１６日（木）18:30～19:30　リナシティかのや２階情報研修室 ※会の中で、参加にあたっての留意点、準備するもの、アレルギーの個別相談等を行います。 ※参加にあたり、特に配慮の必要な場合は、個別に日程を調整して御相談をお受けします。

主な日程

26日(日)	出会いの日	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ、ｱｲｽﾌﾞﾚｲｸ、テント設営
27日(月)	基本の日	野外炊飯の基本（火おこし）、洗濯
28日(火)	習熟の日	野外調理いろいろ
29日(水)	山の日	万滝ハイキング
30日(木)	工作の日	思い出七宝焼き
31日(金)	仕上げの日	オリジナル調理、キャンプファイヤー
8/1日(土)	感謝の日	振返り、感想共有

日程詳細

その他	○日程の詳細は、上の二次元コードもしくは下のURLから御確認ください。 　なお、野外調理の内容は参加者の熟度によって変更します。 ○参加者確定後に決定通知と関係書類をメールで送付します。記入が必要なものは、基本的に二次元コードを活用します。なお、申込等に記載された個人情報は、本事業のみに使用し適正に管理します。 ○天候等の影響により、中止もしくは日程の短縮などの変更を行う場合があります。開催前の態度決定は、７月24日(金)17:00に行い、保護者へメール(オープンチャット)で連絡します。 ○活動の写真は、市の広報誌や青少年育成市民会議の報告や広報に使用します。また、「鹿屋市青少年育成市民会議が届けるサマーベースキャンプ2026」は、国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金の助成を受けており、活動の分かる写真等を機構へ提出することとなっています。個人情報(写真)は、「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。これらについて承諾の上お申し込みくださいますようお願いいたします。 <日程URL> https://drive.google.com/file/d/1o2SE-pZrPWgiSkNkOMIYFOC45nWl4LEG/view?usp=sharing
問合せ先	鹿屋市青少年育成市民会議事務局（鹿屋市生涯学習課内） 電話　　０９９４－３１－１１３８ メール　syougaku@city.kanoya.lg.jp

National Institution For Youth Education 独立行政法人 国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風をおこそう

おしらせ④　令和８年度夏の子ども教室（短期講座）について

（生涯学習課）



☆夏を学びで楽しもう！
令和8年度 夏の子ども教室（短期講座） 参加者募集中！
公民館・地区学習センター等



花岡地区公民館

〒891-2322
古里町208-１TEL 0994-31-8001

	月	日	曜	時間	講座名称	対象者	申込期限	材料費
1	7	22	水	10:00～12:00	リサイクル工作教室【ベイブレード風こま作り】	小中学生親子20組	7/10（金）	無料
2	7	24	金	10:00～12:00	絵画教室	小学生20人	7/10（金）	200円
3	7	27	月	9:30～11:30	親子で簡単料理教室（午前）	小学生親子６組	7/10（金）	800円
4	7	27	月	13:30～15:30	親子で簡単料理教室（午後）	小学生親子６組	7/10（金）	800円
5	8	7	金	13:00～16:00	親子木工工作教室※本年度は室内実施	小中学生親子15組	7/22（水）	200円
6	8	19	水	10:00～12:00	夏休み自由研究電気のしくみと不思議	小中学生15人	7/22（水）	無料

【花岡地区公民館の講座への申込方法】
○右記の二次元コードからお申込みください
○講座の詳細もご覧いただけます
申込フォームはこちら→

輝北コミュニティセンター

〒893-0201
輝北町上百引2635 TEL 099-486-0505

	月	日	曜	時間	講座名称	対象者	申込期限	材料費
1	7	22	水	9:00～12:00	陶芸教室	小・中学生15人	7/6（月）	700円
2	7	23	木	10:00～12:00	タイルアート教室	小・中学生20人	7/10（金）	1,200円
3	7	23	木	13:30～15:00	貝細工教室	小・中学生15人	7/10（金）	300円
4	7	24	金	10:00～12:00	親子革細工教室	小学生親子10組	7/10（金）	1,000円
5	7	28	火	10:30～12:30	水彩画教室	小中学生20人	7/10（金）	200円
6	7	29	水	10:00～12:00	アルコールインクアート	小中学生10人	7/10（金）	1,000円
7	8	4	火	9:00～11:30	科学講座「もしも原子が見えたなら」	小学生20人	7/25（土）	200円
8	8	5	水	9:00～12:00	親子水ロケット作り教室	小中学生親子10組	7/10（金）	1,000円
9	8	18	火	10:00～12:00	ちょっと怖いお話会	小学生30人	7/25（土）	無料

【輝北コミュニティセンターの講座への申込方法】
○右記の二次元コードからお申込みください
○講座の詳細もご覧いただけます
申込フォームはこちら→

串良公民館

〒893-1602
串良町有里507-１TEL 0994-63-5030
（串良ふれあいセンター内）

	月	日	曜	時間	講座名称	対象者	申込期限	材料費
1	7 8	21 17	火 月	9:30～11:30	夏休み陶芸教室①夏休み陶芸教室②	小学生以上20人①②両日参加できる人※小2以下は保護者同伴	7/10（金）	500円/人
2	7	22	水	9:30～11:30	子ども吹矢教室	小学生以上15人	7/14（火）	無料
3	7	24	金	10:00～11:30	電気をつくるしくみ電気が届くまで	小学生以上20人	7/1（水）	無料
4	7	26	日	10:00～12:00	多肉植物の寄せ植え教室（自由研究向け観察日記付き）	小学生以上親子20組	7/17（金）	1,500円/人
5	7	28	火	10:00～12:00	夏休み絵画教室	小学生以上20人	7/17（金）	無料
6	8	7	金	9:00～12:00	親子ピザ作り教室	小学生以上親子10組	7/17（金）	1,300円/組
7	8	7	金	13:30～15:30	バルーンを作って遊ぼう	小学生以上親子20組	7/29（水）	300円/人
8	8	20	木	10:00～11:30	３Ｂ体操で遊ぼう	小学生以上20人	8/12（水）	無料

【串良公民館の講座への申込方法】
○右記の二次元コードからお申込みください
○講座の詳細もご覧いただけます
申込フォームはこちら→

コミュニティセンター吾平振興会館

〒893-1103
吾平町麓3408-1 TEL 0994-58-6036

	月	日	曜	時間	講座名称	対象者	申込期限	材料費
1	7	21	火	10:00～12:00	朝のタイルアート～フック作り～	小中学生50名	7/6（月）	1,200円
2	7	21	火	13:30～15:30	昼のタイルアート～フック作り～	小中学生50名	7/6（月）	1,200円
3	7	23	木	13:30～15:00	アロマキャンドルづくりと火のはなし	小中学生30人	7/6（月）	1,000円
4	7	24	金	13:30～15:00	靴下マスコットおさるさんつくり	小中学生30人	7/6（月）	1,500円
5	8	5	水	13:30～15:00	鹿児島高専 STEAM教育出前講座～パタパタ飛行機を作って機械が動く仕組みを見てみよう～	小中学生30人	7/20（月）	無料

【コミュニティセンター吾平振興会館の講座への申込方法】
○右記の二次元コードからお申込みください
○講座の詳細もご覧いただけます
申込フォームはこちら→

高隈地区交流促進センター

〒893-0131
上高隈町262-１TEL 0994-45-2510

	月	日	曜	時間	講座名称	対象者	申込期限	材料費
1	8	16	日	10:00～12:00	みんなでタイルアート	小学生以上親子40人	8/3（月）	1,200円
2	8	9	日	10:00～12:00	カラーアートセラピーで大人も子どももリフレッシュしちゃおう	小学生以上親子15人	8/3（月）	1家族200円

【高隈地区交流促進センターの講座への申込方法】
○右記の二次元コードからお申込みください
○講座の詳細もご覧いただけます
申込フォームはこちら→

高須地区学習センター

〒893-0054
高須町1490-３TEL 0994-47-3152

	月	日	曜	時間	講座名称	対象者	申込期限	材料費
1	7	19	日	9:00～12:00	ヨット教室①	小･中学生10人（保護者同伴）	7/7（火）	1,000円
2	7	26	日	9:00～12:00	ヨット教室②	小･中学生10人（保護者同伴）	7/7（火）	1,000円
3	8	5	水	9:00～12:00	貝がら名つけ会	小学生15人	7/28（火）	無料
4	8	6	木	9:00～12:00	つるし飾りつくり	小中学生15人	7/28（火）	500円
5	8	7	金	10:00～12:00	親子押し花細工教室	小学生親子10組	7/28（火）	600円

【高須地区学習センターの講座への申込方法】
○右記の二次元コードからお申込みください
○講座の詳細もご覧いただけます
申込フォームはこちら→

★申込開始は、6月24日（水）からになります。
★参加申込は、各館の二次元コードを読み込み、申込フォームからお申込みください。（２４時間受付）
★定員を超えた場合は抽選となりますのでご了承ください。
★抽選の結果や講座の案内について、申込締切り後、登録したメールアドレスに通知します。
★登録したメールアドレスに連絡事項等は連絡しますので、ドメイン指定受信を設定している場合は、『@city.kanoya.lg.jp』を受信できるようにしてください。

★夏は公民館で学ぼう★
公民館や地区学習センター等では、夏休みを中心に小中学生やその保護者を対象として「夏の子ども教室（短期講座）」を開設します。保護者とのふれあいを目的とした講座や夏休み中の課題解決に役立つ講座も開設します。是非、各館にお申込みください。

裏面もご覧ください⇒

※熱中症予防のため、水分補給用の飲み物をご持参ください。
※諸般の事情により、日程内容が変更又は中止になる場合があります。
※二次元コードが読み取れない場合は、鹿屋市HPから申込ください。









☆夏を学びで楽しもう！
令和8年度 夏の子ども教室（短期講座） 参加者募集中！
公民館・地区学習センター等



細山田分館

〒893-1601
串良町細山田4945-1 TEL 0994-62-2958

	月	日	曜	時間	講座名称	対象者	申込期限	材料費
1	7	23	木	9:30～11:30	夏の絵画教室	小学生10人 小学２年生以下は保護者同伴	7/10（金）	無料
2	7	27	月	9:30～11:30	親子で楽しく作る パウンドケーキ教室	小学生 親子５組	7/10（金）	500円
3	7	29	水	9:30～11:30	夏の書道教室	小学生10人 小学２年生以下は保護者同伴	7/10（金）	無料
4	8	4	火	9:00～12:00	親子で作る 水ロケット教室	小学生 親子10組	7/10（金）	1,000円
5	8	6	木	9:30～11:30	親子で地上絵作成にチャレンジしてドローンで撮影しよう！	小学生 親子10組	7/10（金）	無料
6	8	18	火	9:00～11:30	貝殻の名前を 調べよう！	小中学生 親子10組 ※中学生は、保護者同伴でなくても参加可能	7/10（金）	無料

【細山田分館の講座への申込方法】
○右記の二次元コードからお申込みください
○講座の詳細もご覧いただけます

申込フォームはこちら→

西原地区学習センター

〒893-0064
西原２丁目２-３ TEL 0994-43-7003

	月	日	曜	時間	講座名称	対象者	申込期限	材料費
1	7	22	水	9:30～11:30	親子でつくるタイル雑貨	小中学生親子15組 ※保護者も作成可	7/10（金）	1,200円
2	7	23	木	9:30～11:30	子ども折り紙教室	小中学生 10人	7/10（金）	200円
3	7	24	金	13:30～15:30	親子で山野草を使った こけ玉作り教室	小中学生親子10組 ※保護者も作成可	7/10（金）	500円
4	7	29	水	9:00～12:00	親子で木工工作教室	小中学生 親子15組	7/10（金）	200円
5	7	31	金	10:00～12:00	子ども絵画教室①	小中学生 30人	7/15（水）	200円
6	7	31	金	13:30～15:30	子ども絵画教室②	小中学生 30人	7/15（水）	200円
7	8	4	火	14:00～16:00	電気をつくってみよう くわしくなろう！	小学生 15人	7/17（金）	無料

【西原地区学習センターの講座への申込方法】
○右記の二次元コードからお申込みください
○講座の詳細もご覧いただけます

申込フォームはこちら→

田崎地区学習センター

〒893-0032
川西町3603-1 TEL 0994-41-5066

	月	日	曜	時間	講座名称	対象者	申込期限	材料費
1	7	24	金	13:30～15:30	パステルアート ～指で描く自分の世界～	小中学生 20人	7/10（金）	300円
2	7	28	火	13:30～15:30	木工作品作り ～高校生と一緒にいすを作ろう！～	小中学生 10人	7/10（金）	1,000円
3	7	30	木	9:30～11:30	世界にひとつのオリジナル鉢を作ろう！	小中学生 15人 ※小学３年生以下は保護者同伴	7/10（金）	700円
4	7	30	木	14:00～16:00	小さなお庭作り ～多肉植物の寄せ植え体験～	小中学生 15人 ※小学３年生以下は保護者同伴	7/10（金）	1,000円
5	7	31	金	10:00～12:00	もしもごはん研究所 ～いつものごはんが、もしもの力に！～	小中学生 親子８組	7/10（金）	800円/組
6	8	8	土	9:30～11:30	親子料理教室 ～ジャムを作ろう！～	小中学生 親子5組	7/24（金）	800円/組
7	8	18	火	10:00～12:00	勾玉つくり ～古代人になろう～	小中学生 40人	7/31（金）	無料

【田崎地区学習センターの講座への申込方法】
○右記の二次元コードからお申込みください
○講座の詳細もご覧いただけます

申込フォームはこちら→

上小原分館

〒893-1605
串良町上小原2619-1 TEL 0994-63-1041

	月	日	曜	時間	講座名称	対象者	申込期限	材料費
1	7	23	木	10:00～12:00	手作りの道具で、遊ぼう！！	小学生 20人	7/10（金）	500円
2	7	30	木	10:00～12:00	子ども絵画教室	小学生 20人	7/10（金）	200円
3	8	18	火	10:00～12:00	歌って遊んで大爆笑！	小学生 20人	7/10（金）	無料
4	8	25	火	10:00～12:00	歌って踊って！！	小学生 20人	7/10（金）	無料

【上小原分館の講座への申込方法】
○右記の二次元コードからお申込みください
○講座の詳細もご覧いただけます

申込フォームはこちら→

大姶良地区学習センター

〒893-0045
田淵町987-2 TEL 0994-48-3150

	月	日	曜	時間	講座名称	対象者	申込期限	材料費
1	7	24	金	10:00～12:00	親子でタイルアート	小学生15人 ※小学２年生以下は保護者同伴 ※保護者も作成可	7/16（木）	1,200円
2	8	6	木	10:00～12:00	親子で絵手紙教室	小中学生 親子15組 （子どものみも可）	7/29（水）	無料
3	8	20	木	10:00～12:00	親子で押し花教室	小中学生 親子15組 （子どものみも可）	8/12（水）	600円

【大姶良地区学習センターの講座への申込方法】
○右記の二次元コードからお申込みください
○講座の詳細もご覧いただけます

申込フォームはこちら→

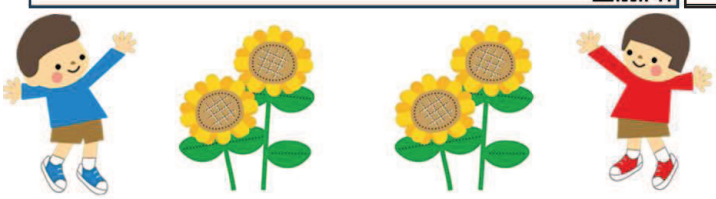
東地区学習センター

〒893-0015
新川町114-2 TEL 0994-31-1190

	月	日	曜	時間	講座名称	対象者	申込期限	材料費
1	7	27	月	10:00～12:00	子ども絵画教室A	小学生 25人	7/10（金）	200円 （事前納入）
2	7	29	水	10:00～12:00	子ども絵画教室B	小学生 25人	7/10（金）	200円 （事前納入）
3	7	31	金	10:00～12:00	子ども書道教室	小学生 15人	7/10（金）	無料
4	8	5	水	10:00～12:00	夏休み自由研究 電気をつくるしくみとはたらき	小学生3年生以上 小学生25人	7/22（水）	無料
5	8	9	日	9:00～15:15	わくわく科学教室　夏 講座①「コマで遊ぼう」中学生向け 講座②「もしも原子が見えたなら」高学年向け 共通講座「ドライアイスで遊ぼう」みんなで午後に	小学3年生～6年生 50人	7/22（水）	1,000円 （当日納入）
6	8	8	土	9:00～12:00	将棋教室A	小学3年生～6年生の初心者15人	7/22（水）	無料
7	8	22	土	13:00～16:00	将棋教室B	小学生～大人まで（コマの動かし方を知っている方）	7/22（水）	無料

【東地区学習センターの講座への申込方法】
○右記の二次元コードからお申込みください
○講座の詳細もご覧いただけます

申込フォームはこちら→



裏面もご覧ください⇒

おしらせ⑤　文化財ウォッチングについて

（生涯学習課）



開催日時

令和８年

７月18日（土）
13：00～16：00

８月８日（土）
９：00～12：00

※両日参加が必要です

開催場所　鹿屋市東地区学習センター
串良歴史民俗資料室　など

体験内容
・まが玉作り　・土器作り
・火起こし　・野焼き
・資料室見学

対象者　２日間とも参加できる、市内在住の小学４年生～中学３年生

定員　20名
※応募者多数の場合は抽選

参加料　無料

応募方法　令和８年７月３日（金）17時までに専用フォームから応募

問合せ先　鹿屋市文化財センター
TEL：0994-31-1167
※平日８時30分～17時